

長崎県内の具体的取組紹介

【団体名】

ボランティアグループ「ささえさんの会」(南島原市)



HP アドレス <https://sasaesannokai.jimdofree.com/>



【取組の概要】

皆さんは、長崎県の少子高齢化が全国より速いスピードで進んでいることを聞いたことがあるでしょう。高齢化の進行にともなって、認知症をはじめする、さまざまな障害や病気などのために「生きづらさ」を抱えている人たちが増え、その家族の不安や負担も大きくなっています。そのような不安や負担を軽減するために、認知症等についての学びを通じて、若い世代とお年寄り世代を結び、誰もが安心して暮らすことができる住みよいまちづくりを目指しています。

【取組の実際】

「ささえさんの会」は、役所や自治会、小中高等学校、介護施設や医療機関などと連携しながら、様々な学びや交流を進めています。○認知症についての市民自主講座 ○小中学生等対象の認知症サポーター養成講座 ○公民館講座「生き活きのつどい」、○オレンジカフェくちのつ(若者から高齢者の集い) ○放課後子ども教室「ふれあいサポートキッズ」 ○南島原市内中学校での人権講話 ○高齢者に絵手紙を届ける取り組み

このような「学び—話合い—世代を超えた交流」を通して、若い世代が、高齢者や認知症の人たちの姿を深く見つめるとともに、みんなの力を合わせて、「誰もが安心して住み続けることができるまちづくり」を目指して活動しています。

【メッセージ】

誰もが「幸せに生きて！」と願って日々暮らしています。両親や兄弟姉妹、祖父母、友だち、そして地域の方々が「幸せ！」と感じるとき、皆さんの幸せも輝きを増すことでしょう。そのために、①自分を大切にすること ②困っている人がいたら、自分にできることを考え、やってみること ③自分ひとりで解決することが困難なときは、誰でもいいから相談し、力を合わせることを大切にしてください。皆さんの存在は「みんなが幸せなまちづくり」の大きな力になるのです。